

2026年度 国民スポーツ大会 スポーツクライミング競技

埼玉県ジュニア強化選手選考基準

2026年 3月 12日

(一社)埼玉県山岳・スポーツクライミング協会

埼玉県ジュニア強化選手を選考する最終的な権限は、(一社)埼玉県山岳・スポーツクライミング協会(以下『本協会』という。)が有する。選手の選考は、以下の基準に基づき本協会強化委員会が推薦し、本協会理事会で承認することで決定する

ジュニア強化事業は埼玉県の国スポ選手育成等を目的に行われている事業である。

1 選考方針

- ・ 行動規範を重視し、大会中、練習中を問わず埼玉県を代表するに相応しい行動と行動を行える選手を選考する
- ・ 将来、本国スポで入賞できる実力と強い意欲を持った選手を選考する。
- ・ リード、ボルダーを共に意欲的に取り組む選手を選考する。
- ・ 全国規模の大会等で、本協会所属として活動する選手を選考する。
- ・ JMCA や本協会が主催する大会や練習会に積極的に参加する選手を選考する。

2 前提条件

- ・ 埼玉県内在住・在学者で国スポ埼玉県代表選手を目指す者。
- ・ 小学5年生から高校2年生の者(2009年4月1日~2016年4月1日生まれ)
- ・ 本協会に加盟する者
- ・ JMCA に2026年度選手登録をしている者(A登録B登録は問わない)
- ・ 第19回コバトンボルダリング大会、並びに第27回リードKAZOクライミングカップ(以下『県予選』とする)両大会に出場し、埼玉県ジュニア強化選手を希望する者
- ・ 当協会が主催・主管する大会に積極的に参加する意思のある者

* 上記以外に保護者の方には、強化事業遂行のため本協会スポーツクライミング部(競技委員会・強化委員会)の活動補助を必須とする。

3 選考方法

(1) 将来の少年男女国スポ代表選手候補枠

県予選の指定カテゴリーに出場している選手のうち、県予選の順位点に基づき若干名を選考する。但し上記『2.前提条件』に該当しない選手の順位を除く。

計算方法については埼玉県国スポ代表選手選考方法と同様とする。

注：順位点とは、順位が単独の場合は順位と同じ値、同着が複数人いる場合は平均順位値のことである

(2) 次年度の少年男女国スポ代表候補選手枠

県予選の指定カテゴリーに出場している選手のうち、必要に応じて若干名（男女同数の考慮を含む）を選考する。

但し埼玉県国スポ代表選手及び上記『2.前提条件』に該当しない選手を除く。

(3) JMCA 主催の全国大会枠

BJC, LJC2026

2026 ボルダージュース日本選手権

2026 リードユース日本選手権

上記大会において決勝（準決勝がある大会においては準決勝）進出に準ずる予選の成績を収めた選手

(4) その他

国スポ種別の継続性を保つため、必要に応じて強化委員で協議して選考する

4 特典

(1) 埼玉県の国スポ代表候補選手としてジュニア強化事業の対象になる。

(2) 強化練習に係る施設使用料、強化合宿の費用について、規定により一定額助成される。

(3) 次年度の県予選エントリー時に優先エントリー枠を用意される。(定員オーバーによるエントリー漏れがなくなる)

5 ジュニア強化候補選手（中学2年生以下）

県予選指定カテゴリーにおいて、上記で選出されなかった選手の中から、将来性や本人の意欲等を考慮してジュニア強化候補選手を選出する。また、怪我や病気、学校行事等やむを得ない事情で県予選の両大会に出場できなかった場合でも次のいずれかの基準を満たせばジュニア強化候補選手として選出される場合もある。

(1) 県予選どちらかの大会で優秀な成績を収め、強化委員会の推薦を得る。

(2) 全国規模の大会に出場し、優秀な成績を収め強化委員会の推薦を得る。

推薦については随時行うが、いずれの場合も強化委員会で協議し、正式に決定する。

6 ジュニア強化候補選手としての特典

一部の強化練習会に参加できる。但し練習に関わる施設使用料、その他諸費用については自費とする。

7 倫理規定の遵守

ジュニア強化選手並びにジュニア強化候補選手に選考された選手は、本協会の『倫理規定』を遵守するものとし『倫理規定』に違反のあった場合は『処分規定』により認定の取り消し等の処分もある。